



## ニドウ君、ソナムさん 高校ご卒業おめでとうございます！

ブータン王国からの留学生ニドウ・ドルジ君とソナム・チヨデンさんは、2018年1月に来日し、星槎国際高校湘南に入学しました。高校ではアーチェリー専攻に所属し、3年間勉強とスポーツに励みました。この春卒業した2人が3年間の留学生活について語ってくれました。

●ニドウさん、ソナムさん、この度はご卒業おめでとうございます。3年間お疲れ様でした。卒業を迎えて、今どんな気持ちですか？

**ニドウ：**とてもうれしいです。3年間がんばって勉強して、アーチェリーをして、良い形で終わるのですごくうれしいです。



**ソナム：**

早くブータンに帰りたいという気持ちと帰りにたくないという気持ちがあって複雑です。

日本で星槎の皆さんと家族みたいに過ごしてきたので、ブータンに帰ると決めた時は、とてもさみしくて涙が出ました。

●3年間過ごした星槎の魅力を教えてください。

**ニドウ：**3年間過ごして、星槎で働いている先生とスタッフみんながんばっているのがすごいと思います。

**ソナム：**外国と交流があるところが魅力です。ブータンでは他の国の人は見たことがなかったですが、星槎に来てエリトリアやミャンマーなどいろんな国の人と一緒に過ごせたのが一番良かったです。

●アーチェリー選手として来日しましたが、星槎でのトレーニングで、ここが強くなった！というところを聞かせてもらえますか？

**ニドウ：**星槎では長く練習でき、また良い先生から学ぶことができ、筋力とスキルが伸びたと思います。毎日授業の後、昼食を食べてからすぐに1日4時間以上練習しました。週末は1日中練習していました。

**ソナム：**一番は筋トレだと思います。

練習時間も長かったです。

●留学で何を学び、何を身に付けたと思いますか？また自分のここが成長したと感じる点も教えてください。



高校留学生全員と記念撮影（前列左から：スーさん、ヤミンさん、ソナムさん、ニドウ君、メルハウイ君。後列左から：ナトナエル君、カウン君、タイモン君）

**ニドウ：**留学をしてブータンと日本の違い、いろいろな国との違いが分かりました。料理もそうですが、生活や働き方、努力の仕方が違います。ブータンでは人々が一生懸命やっているように見えなかったですが、日本に来てからはみんながすごく仕事などを一生懸命やっているのを見えました。また、初めて家を出て、他の国で生活したので、一番は自分の気持ちが変わりました。

**ソナム：**アーチェリーを3年間やって、一番成長したのは考え方です。考え方が良くなりました。ブータンでは勉強だけするので、深く考えることもそんなになかったです。日本に来てからアーチェリー選手としていろいろな先生からアドバイスをもらい考え方が変わったと思います。アーチェリーの試合では、勝っても負けても気分の浮き沈みがなくなりメンタルが強くなりました。

●支援して下さった皆様にメッセージをお願いします。

**ニドウ：**3年間サポートしてくれてありがとうございます。これからもブータン、エリトリア、ミャンマーなど他の国の子どもにもサポートを続けてくださいますようお願いいたします。

**ソナム：**皆さま3年間、サポートしてくださりありがとうございます。本当に感謝しています。また、他の留学生達のことも応援してください。よろしくお願いします。

(FGC 井上美智代)



3年間ありがとうございました！

### 教職員からのメッセージ

星槎国際湘南  
アーチェリー専攻  
茂田祐祐監督



アーチェリー場も弓も何もない所からスタートでしたね。今後も一生関わっていきと思います。国に帰ってもがんばってください。応援しています。

星槎国際湘南  
アーチェリー専攻  
徐源碩 (ソ・ソクオン)  
コーチ



一緒に2年間がんばってここまで来て本当にすばらしいと思います。2人がどこに行っても応援するのであきらめずにアーチェリーを頑張ってください。

星槎国際湘南  
女子寮寮母  
安保理代



何も分からない状態で日本に来て大変だったと思いますが、うまくコミュニケーションを取っていました。ブータンでも絶対できると信じているのでがんばって成長してってください。

フルインタビューはこちらFGCのYouTubeチャンネルからご覧いただけます！





## 星槎大学に通う留学生が日本語でプレゼンテーション

星槎大学アコモデーションコースに在籍する、ブータン人留学生ペンジョ君とエリトリア人留学生デジェン君が、日本語でスピーチ発表をしました。共生社会の実現を担う人材の育成を目指す「星槎学」の授業の一環として、二人はそれぞれの国について、様々な角度から紹介してくれました。ペンジョ君はブータン王国がなぜ世界一幸せな国と言われているのかについて「国民が政治、自然、文化、宗教の4つのことが大切だと考えているからだ」とブータン国民から見た視点で話しているのが印象的でした。また標高3000メートルの断崖絶壁に位置する「タクツァン僧院」について、スライドを交えながら紹介してくれました。デジェン君はエリトリア国の位置や国旗の色



を用いて国の歴史を紹介し、郷土料理であるインジェラについて興味深い発表してくれました。

終了後に感想を聞くと、ペンジョ君は「発表を通して、ブータンについて今後説明する時に役立つ日本語が学べて良かった。伝えたいことを要約するのが難しかったが、良い経験になった」、デジェン君は、「大勢の前での発表で緊張したが、エリトリアのことを多くの人に知ってもらえて良かった」と言っていました。2人共、それぞれの国について堂々と発表でき、大学生として成長した様子を伺うことができました。

(FGC 木村友香)



## 星槎名古屋中学校から手作り日本語教材寄贈!

星槎名古屋中学校から星槎国際高校湘南に在籍している留学生へ「手作りの絵本とカルタ」をプレゼントしていただきました。星槎名古屋中学校2年C組の皆さんが、3か月に渡って制作して下さいました。絵本は、日本の昔話から桃太郎、カルタは防災をテーマにしたすぐに役立つ知識が分かり易く盛り込まれていました。そして「今後もさまざまな形で星槎グループの留学生の皆さんと関わりたいです」とのメッセージもいただきました。早速、寄贈していただいた手作りカルタと絵本を留学生の日本語授業で使用しました。カルタは1回目は個人戦で、2回目はチーム戦で行いました。個人戦では、初めの文字が言われる度に全集中、ルールを守りゲームを楽しむことができ、チーム戦では、カードを取ることに苦戦する仲間を励ましを声を掛けたりカードが取れたら拍手をしたり、とても盛り上がることができました。また、カルタから非常口を表す絵や津波など



の防災知識も身につけることができました。そして、絵本は、留学生全員で一人ひとり順番に朗読をし、物語の流れを理解しながら読んでいきました。日本の昔話「桃太郎」の物語を知れたことで、日本文化を学ぶ上でも良いきっかけになりました。今後も絵本とカルタは学習教材として役立てていきたいと思います。星槎名古屋中学校の皆様、ありがとうございました!

(FGC 木村友香)



カードが取れて先生とハイタッチするメルハワイ君



日本昔話「桃太郎」を朗読する留学生たち



# ブータンの文化紹介

## ブータン国技「ダツェ」

ニドゥ君とソナムさんの出身国であるブータン王国では、古くから弓技が盛んであり、国王を始め、広く国民からも愛されている国技でもあります。しかし、これは卒業生の2人が専門とするアーチェリー競技とは異なります。オリンピック競技のアーチェリーではリカーブボウを使用し、的までの距離が70mあるのに対し、ブータンの国技である「ダツェ」は「ジュ」と呼ばれる竹製の弓を使用し、公式の大会では的までの距離は100m～145mあります。また、参加者は弓を撃つだけでなく、的を当てた時に踊りや歌で自分のチームを励まし、相手チームの集中力を分散させる役回りがあることも「ダツェ」の特色です。そして、「ダツェ」が国技として扱われるのはその独特なルールや道具があるからだけではなく、弓と矢、それ自体が昔のブータン人の日常生活と深い関わりがある道具だからです。それらは狩猟、出産・新築祝いなど様々な場面で活躍していました。また、神様への貢物としても扱われ、宗教との結びつきも強いです。「ダツェ」は伝統競技として、今はブータン伝統競技保全機関 BIGSA によって保護されており、今日もブータン国民にとって欠かせない競技として親しまれています。

(FGC 小西楽平)



的にねらいを定める射手



「ジュ」と呼ばれる竹製の弓と矢



的に当たり、自分のチームに祝いのダンスを披露する様子

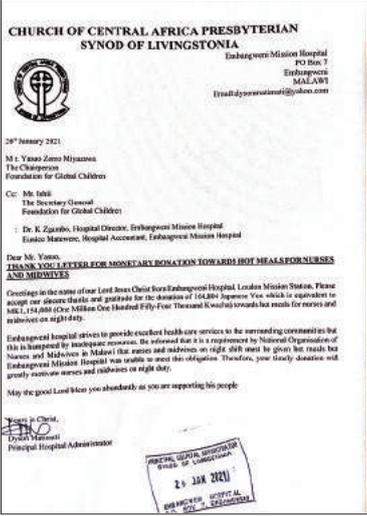


# 各国での支援活動

## アフリカ マラウイの病院の活動を支援しています

スポーツ関連だけでなく、世界こども財団では多様な支援活動を国内外で実施しています。昨年末から今年にかけて2回に渡り、アフリカのマラウイ北部にある病院「エンバングウェニ・ミッション・ホスピタル」の活動支援のため寄付を行いました。この病院では200名以上のスタッフが働き、年間で外来患者約3万人、入院患者約4千人を受け入れています。しかし病床は常に定員オーバーで、新型コロナウイルスの対応にも迫られ、スタッフは厳しい環境の中で働いています。また、この病院では妊産婦や新生児の死亡リスクを減らすためのプロジェクトにも取り組んでいます。世界こども財団からの寄付はこういった活動や病院の環境整備に活用されます。今後も連携し、小さくてもできる支援を継続していきます。

(FGC 石井洋祐)



病院から宮澤保夫理事長に送られた感謝状



エンバングウェニ・ミッション・ホスピタル



世界こども財団の窓口となっているディレクターのガンボ医師 (写真右)



出産後すぐに母親を亡くした赤ちゃん



# 多くの仲間と共に未来に繋がる活動へ

## FGCサポーターからの支援

世界子ども財団は、今年で設立から12年目を迎えました。世界子ども財団の目的を継続して遂行できるのも、支援者の皆様のご理解とご協力があるからです。日頃より支援者の皆様からは、様々な形で世界子ども財団のみならず星槎グループ全体へ多大なるご協力をいただいています。

富士屋ホテル株式会社様と星槎グループの提携により、星槎の職員に加え世界子ども財団賛助会員の皆様も割安で富士屋ホテルチェーンの施設を利用できるようになりました。また、アサヒ飲料株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、キリンビバレッジ株式会社、サントリービバレッジサービス株式

会社の各大手飲料メーカー様からは星槎グループのイベント開催ごとにドリンク協賛をいただいています。さらに、アイリスチトセ株式会社様からは、「貼るカイロ」を多数ご寄贈いただきました。ご紹介させていただいたものはほんの一部にしかすぎません。いずれも世界子ども財団の法人会員であり、この他にも多くの企業・団体様にご協力をいただいています。皆様からの温かいご支援は、世界子ども財団の大きな柱となっています。今後も国内外問わず、必要とされる場所へ手を差し伸べ、青少年の健全な育成支援活動に従事して参りますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。（FGC 宮川翔太）

事務局より

### ● 2020年1月～12月 寄付モノ・寄付コラボ商品の報告

寄付モノ	(円)	寄付コラボ商品	(円)
本	171,384	自動販売機 販売手数料 (各社より)	9,205,605
切手	1,920		
合計	173,304	合計	9,205,605



全国の皆さまのご厚志でこんなに寄付をお寄せいただいております。心よりお礼申し上げます。

### ● ご協力いただいている企業・団体様

#### 法人会員その他ご協力企業・団体様（順不同）

湘南事務機サービス(株)、(有)オク・インタナショナル、(株)みやざき、(株)トップランドコーポレーション、(株)山一地所、(株)鈴廣蒲鉾本店、(株)カトー、三基工業(株)、(株)清美堂、共栄建設(株)、(株)ユーミーホールディングス、山下寝具(株)、フルサワ印刷(株)、NPO 法人星槎教育研究所、(株)全日警 横浜支社、学校法人田島学園、学びリンク(株)、アイリスチトセ(株)、富士屋ホテル(株)、NPO 法人劇団新制作座、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)アストロ、(株)エナリス、(株)八洋、サントリービバレッジサービス(株)、二葉工務店、東京体育用品(株)、(株)ソディックエフ・ティ、アサヒ飲料(株)、はやし亭 大磯、(有)小澤フーズ うろん屋、(株)JTB 神奈川西支店、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)大塚商会、キリンビバレッジ(株)、みんな電力(株)、星友会、星親会、星睦会、星槎全国生徒会、日本リース(株)、(株)KurikindiDesign、(有)ケンセー、東海プラント(株)、(株)ルール、FTI (株)、コグメド・ジャパン合同会社、(株)矢部プロカutting、(株)フュージョン、アマチュア無線関係の皆様、(株)トキコ・プランニング、(-社)日本チャンマー協会、独立行政法人 国際協力機構横浜センター、(株)バリューブックス、シーフォー(株)、駐日エリトリア大使館、(-社)協力隊を育てる会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本障がい者スポーツ協会、(公社)全日本アーチェリー連盟、(公社)日本ライフル射撃協会、日本ブータン友好協会、在東京ブータン王国名誉総領事館、NPO 法人希望の車いす、(株)ビィ・フォアード、(株)ドマ

#### 寄付型自動販売機設置にご協力いただいている企業・団体様（順不同）

(株)ルミネクリエーツ、(株)ジャパン国試合格、大和化学工業(株)、(株)オートスピリット、山文物流センター、(株)小俣組、国際総合健康専門学校、浦和高等学園、岡山高等学院、東部トップツアーズ(株)、児玉商店、(株)矢部プロカutting、東海プラント(株)、アイリスチトセ(株)、八戸あおば高等学院、東京計装(株)

その他個人、企業、団体の皆さまから多大なるご協力をいただいております。誠にありがとうございます。

2021 年度も引き続き個人会員・法人会員を募集しております。

今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。



2021年3月発行

公益財団法人  
世界子ども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2 (星槎グループ内)  
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp  
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界子ども財団」で検索!  
印刷: 株式会社 Kurikindi Design 制作: 岡村直実 (JC ユニット)

